

平成19年12月4日

議長のお許しをいただきましたので、町政の諸般についてご報告申し上げます。

2007年も残り少なくなってまいりましたが、この1年を振り返りますと、能登半島地震や中越沖地震などの災害を始め、一連の年金問題、介護保険の不正、相次ぐ食品偽装、薬害肝炎問題、防衛省をめぐる贈収賄事件など、国民の不安や不信を募らせる出来事が相次いでおります。

経済面においても、サブプライムショックや原油高騰などの影響により、景気に減速懸念が強まってきておりますし、穀物類のエタノールへの転用や投機マネーの動きが食品価格を押し上げており、家計を直撃しつつあります。

経済活動に不可欠な原油、ガス、ウランなどのエネルギー資源やレアメタルなどの鉱物資源、そして食糧資源については、BRICs（ブリックス）に代表される高度成長国での需要の高まり等により、グローバルな争奪戦が激化しております。

こうした中で、「資源ナショナリズム」も顕在化しており、資源をめぐる国際情勢は、今後さらに厳しさを増すものと思われれます。資源小国であるわが国にとって、その安定確保は国の将来を左右する最重要の課題でありますので、官民挙げての資源外交の強力な推進を望むものであります。

一方、明るい話題として、去る12月1日に第2回万博駅伝が、長久手の愛・地球博記念公園で開催され、武豊町が町村の部で第4位となる大健闘をいただきました。二人の区間賞の選手の皆さんを始め、選手全員のご健闘をたたえるとともに、監督やコーチの皆さんのご尽力に対しまして、感謝を申し上げます。

さて、町政の状況であります。

始めに、20年度の予算編成についてであります。予算編成方針につきましては、先に議員各位にお示しをさせていただきましたが、町民の皆さんとの「協働によるまちづくり」という視点を強調しながら、引続き、マニフェストに掲げた施策を着実に推進するべく、議会を始め町民の皆さんの声を真摯に受けとめながら、適正な予算編成に努めてまいりたいと考えております。

町の財政状況は、税源移譲等により歳入が伸びてはいますが、公債費や扶助費など義務的経費の増加に加え、喫緊の課題である公共施設の耐震化や維持修繕など大きな経費を要する事業が、目白押しで、今後とも予断を許さない状況が続きます。従いまして、先に国が定めた財政健全化基準をクリアしつつ、自立的かつ持続可能な行財政経営を確立するため、集中改革プランに沿って、行政コストの縮減を図りつつ、創意と工夫をもって、限られた財源の効果的かつ効率的な活用に努めてまいりたいと考えております。

なお、町の予算編成に影響を及ぼす国・県の予算編成につきましては、現下の政治状況により、新年度に向けた政策が、まだ固まっておらず、不透明な部分が多々ございます。また、2008年度税制改正の焦点となっている地方法人二税の取り扱いについては、法人事業税を都市部から地方に再配分する方向で政府・与党が最終調整をしているようであります。この通り実施されますと、愛知県から800億円程度が国に吸い上げられ、県の予算編成に大きな影響が出てまいりますので、これらも流

動的で読みにくい状況となっております。したがって、引き続きこれらの動向を注視し、本町に関わりのある制度改正や財源措置の状況等、各般の情報収集に努めつつ、遺漏のない予算編成をしてまいりたいと考えております。

次は、各所管についてであります。

始めに総務部の関係であります。まず、新しい総合計画（仮称）「たけとよゆめたろうプラン」であります。10月3日の、「第2回総合計画審議会」に基本構想（案）を諮問し、現在、審議会の皆さんに鋭意、ご審議を頂いており、年明けには、答申、その後、議会の議決を頂く予定で進めさせて頂いております。

次に、フレンドシップ関係であります。9月27日から10月1日まで、議長さんと私、フィジー大使館秘書官等計4名で、「フィジー諸島共和国」を訪問いたしました。ナンディー市長との面談、「NPO たけとよ」によるナマタクラ村での「ゆめほたる」や、地元の子どもたちへの文房具のプレゼントや、「カバの儀式」等を通じ、大変有意義な交流を図ることができました。

次に、「全国醤油サミット」であります。10月27・28の両日、和歌山県有田郡湯浅町におきまして、「第1回全国醤油産地市町村協議会」、いわゆる「全国醤油サミット」が開催されました。北は、北海道から南は九州熊本まで、全国22市町村と12の醸造元の賛同を得て、盛大に開催されました。そして、協議会での議決により、第2回目を、来年武豊町で開催することが決定されました。湯浅町では、「醤油」をキーワードに地域の皆さんが、町おこしや町並み保存に積極的に参加されており、ボランティア活動も含め、今後の「まちづくり」にも大いに参考となりました。

次に、消防法の改正に基づく、市町村消防の広域化の推進について、であります広域化は、消防の体制の整備及び確立を図ることを目的として、消防力を総合的に向上させていくもので、概ね30万人以上の規模を一つの目標とすることが適当とされております。こうしたことから、今年の10月に県下の市町村首長及び消防関係者等で組織されている、「愛知県 消防広域化 推進計画検討委員会」から広域化推進計画案として、知多5市5町を1つのエリアとする案が示されました。それを基に、今年度中にパブリックコメントを経て、愛知県による「広域化推進計画」が策定される予定であります。

次は、厚生部の関係であります。

始めに、6月から工事に着手しました「思いやりセンター」建設工事の関係であります。近隣地域にご迷惑をお掛けしないよう、また、安全対策等に万全を図りながら工事を進めております。工事の進捗状況ではありますが、10月末現在の出来高は27%であります。今後も事故災害を起こさないよう施工には十分注意し、来年2月末の完成を目指して参ります。

次に、介護予防事業の「憩いのサロン事業」であります。本年度開所しました、大足、玉貫、上ケの3会場では、多くの皆さんのご参加により、交流を深めて頂いております。この3会場に続いて、富貴地区及び馬場地区においては、来年度早々の開設に向けて、区長さんを始め地域の皆さんやボランティアの皆さんと具体的な検討に入っているところであります。

次に、本年6月に発覚した介護保険事業に関する「株式会社コムスン」の不正事件であります。武豊町では、住民の方1人が、半田市にあります認知症グループホーム「コムスンのほほえみ半田」に入所されてみえます。また、「コムスン有楽町ケアセンター」の訪問介護サービスの利用者が4人みえます。両方とも、10月末まではコムスンがサービスを行い、11月1日付けで「株式会社ニチイ学館」が買収し、介護サービスを継続することとなりました。すでに所要の手続きを済ませ、利用者に不便をかけることなく移行しております。なお、11月1日付けでのコムスンから「ニチイ学館」への移行は、全国一律の取扱いであります。

次に、特別会計事業の国民健康保険と老人保健であります。国民健康保険 加入世帯数は、11月1日現在、7,150世帯で、前年と比較しますと、63世帯の増、被保険者数は、13,484人で、前年と比較しますと、62人の増となっております。また、老人保健 医療受給対象者は、11月1日現在、2,994人で、前年と比較しますと、123人の減となっております。

次に、西保育園の耐震改築工事であります。近隣地域に配慮しながら、安全対策等には万全を期して、工事を進めております。工事の進捗状況であります。10月末現在の出来高は、ほぼ予定通りで約41%であります。現在、1・2階のコンクリート打ちを終了し、屋根工事・サッシ取り付け及び内部の間仕切り壁・家具の設置等の内部工事に取りかかっております。2月末までには、新園舎での保育実施の準備を整え、3月上旬の新園舎での利用開始を目指して参ります。

次に、知多南部地域ごみ処理広域化計画の関係であります。今年の4月から、2市3町の構成市町からそれぞれ1名の職員を半田市環境センターに派遣をし「ブロック会議事務局」として事務を進めております。現在の状況であります。マスコミ報道の通り、新焼却施設の建設場所を、「半田市クリーンセンター」とすることで合意を得ております。しかし、その他、各般にわたって協議を必要とする課題が多く、当初の予定からすると遅れているのが現状であります。なお、組合設立を来年4月に予定しておりましたが、半年ほど遅れる見込みであります。詳細については、この後の全員協議会でご報告させていただきますので、よろしくお願い致します。

次に、衣浦港3号地廃棄物最終処分場整備計画についてであります。現在、環境影響評価書が公告され、12月17日まで縦覧に供されております。評価書の内容につきましては、11月21日の全員協議会で事業者及び愛知県によりご説明を頂いたところであります。また、11月27日には、「愛知県 地方港湾審議会 衣浦港部会」が開催され、土地造成の埋立用材の変更が承認されました。私も、臨時委員として出席し、衣浦港の経済発展、親しみやすい港湾づくりを目指して、当初の目的である工業用地としての利用を前提に整備するよう要望してまいりました。なお、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、事業者であるアセックから愛知県に対して、設置許可申請が、近日中に提出される予定との報告がありました。これにより、愛知県では関係書類の縦覧を12月中旬から1ヶ月間縦覧に供する予定をしていると聞いております。

次は、産業建設部の関係であります。さる11月10日から11日の2日間、「第24回武豊町産業まつり」が開催され、多くの町民の皆さんにご来場を賜り、お楽しみを頂くことができました。なお、車両の通行規制等で、近隣の皆様にご協力を頂きましたことにつきまして、この場をお借りし、厚くお礼を申し上げます。

次に、花とみどりの推進委員会の皆さんにより、11月22日に、役場と富貴支所におきまして、丹精こめて育てられたパンジーやストック等の花の苗、約2万3,000本の無償配布が行われ、多くの町民の方々に喜んでいただきました。武豊町全体に花一杯運動がさらに浸透致しますことを期待するところであります。

次は、教育委員会の関係であります。

始めに、韓国 大光（テイカン）初等学校との交流の関係であります。1986年（昭和61年）3月に武豊小学校と姉妹校提携し、交流が始まって以来、23年目にあたります。本年度は、1月12日から1月15日までの4日間の訪問計画となっております。同校「校監」のチャン・ビョンホ先生を始め、教員・PTA・合唱団後援会代表の合計11名の引率者と児童33名、総勢44名の訪問の予定となっております。姉妹校である武豊小学校での交流のほか、成人式・福寿園での公演も予定されております。この間、子ども達はホストファミリーのお世話により、日本での家庭生活を体験して頂くことになっております。この交流を通して、子ども達が「異なる文化や考え」を持つ人達と「共に生きる」能力を高め、健やかに成長することを願っているところであります。

次に、武豊小学校 北校舎 耐震改築工事の関係であります。10月2日に竣工式が行われ、翌週の10月9日から新しい教室での授業がスタートしました。また、11月17日には、「武小フェスティバル」が開催され、保護者等多くの方々にも新校舎と子ども達の様子をご覧いただいたところであります。当日、子どもたちは、質問に対して、「新校舎での授業は、毎日が楽しい。」と笑顔で答えておりました。保護者の方々も、新しい校舎を目にされ、「安全になった」、「明るくなった」、「教育環境がよくなった」等、大変、喜んでおられたことが印象的でありました。

次に、成人式の関係であります。例年、祝日に当たる「成人の日」に成人式を開催してまいりましたが、来年は、1月13日の日曜日に、開催を予定しております。現在、新成人の実行委員8名による「成人式実行委員会」を中心に、その準備を進めているところであります。今年度は、先に報告した韓国の大光（テイカン）初等学校の子ども達が、成人式におきまして、合唱、合奏を披露して、式に華を添えて頂く予定を致しております。今年度の新成人者数は、535名で、前年度より3名の増であります。議員各位には、後日ご案内を申し上げますので、ご臨席を頂きますようお願い申し上げます。

最後に、芸能祭、文化祭の関係であります。文化協会による芸能祭が10月7日に、文化祭が11月2日から3日間の日程で開催されました。関係団体にご協力いただく中、盛大に開催がなされ、多くの町民の皆様楽しんでいただきました。

以上で、諸般報告とさせていただきます。